

岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要）～みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷～

< 国の創生 > まち・ひと・しごと創生総合戦略

人口減少と地域経済縮小の克服

- 人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させるという負のスパイラルに陥るリスクが高い
- 人口減少を克服し、地方創生を成し遂げるため、以下の基本的視点から、人口、経済、地域社会の課題に対して一体的に取り組むことが何よりも重要である
 - ①「東京一極集中」を是正する
 - ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する
 - ③地域の特性に即して地域課題を解決する

まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

- 「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立する

政策の基本目標（4つの基本目標）

- 〈基本目標①〉 地方における安定した雇用を創出する
- 〈基本目標②〉 地方への新しいひとの流れをつくる
- 〈基本目標③〉 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 〈基本目標④〉 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

< 長野県の創生 > 長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略

信州創生の基本方針

- 1 人生を楽しむことができる多様な働き方・暮らし方の創造
- 2 若者のライフデザインの希望実現
- 3 活力と循環の信州経済の創出
- 4 信州創生を担う人材の確保・育成
- 5 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり
- 6 大都市・海外との未来志向の連携

基本目標

- 〈基本目標①〉
誰もが希望する数の子どもを持ち、安心して子育てすることができる「みんなで支える子育て安心県」を構築することにより、人口の自然減に歯止めをかけます。
- 〈基本目標②〉
人生を楽しみながら多様な人材が互いに高め合い、新しい価値を創造できる地域を構築することにより、人口の社会増への転換に向けて、社会減を縮小します。
- 〈基本目標③〉
地域の資源・人材を活かした産業構造を構築することにより、仕事と収入を確保します。
- 〈基本目標④〉
人口減少下でも生活に不可欠なサービスを提供できる地域構造を構築することにより、暮らしの安心と地域の活力を確保します。

< 岡谷市の創生 >

将来にわたってさらなる発展を続け、市民誰もが安全で安心して、健康で生きがいを持って暮らすことができるまち。このまちに住み、働くことに誇りと自信、愛着を持てるまち。そんな「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」を実現することで、人口減少や急速に進む少子高齢化に的確に対応します。

国や長野県の人口ビジョン、総合戦略を勘案し、人口減少を克服する地方創生のための計画と位置づけます。

< 計画期間 >

平成27（2015）年度から平成31（2019）年度までの5カ年の計画とします。

< 人口の将来展望 >

平成72（2060）年 40,000人台を維持

< 基本戦略 >

<基本戦略Ⅰ> たくましい産業創造戦略

～しごとをつくり、安定した雇用を創出する～

市外への人口流出を防ぎ、本市に人の流れを呼び込むため、基幹産業である製造業を中心にさまざまな既存産業の活性化に取り組むほか、企業誘致、新規創業や事業承継の促進により、しごとをつくり、安心して働くことができるよう雇用の創出を図ります。

<基本戦略Ⅱ> 岡谷ブランド発信戦略

～魅力を発信し、新しいひとの流れをつくる～

シルクの歴史や文化、豊かな自然などの地域資源を活かした魅力ある地域づくりを進めるとともに、岡谷ブランドとして積極的に情報発信し、本市の認知度を高め、交流人口を増加させることで、移住、さらには定住意欲の醸成につなげます。

<基本戦略Ⅲ> 輝く子ども育成戦略

～結婚・妊娠・出産・子育て・教育の希望をかなえる～

結婚や妊娠・出産は個人の自由な選択によるものであることを基本としつつ、男女が希望する年齢で結婚し、安心して子どもを産み育てることができるよう、結婚・妊娠・出産・子育て・教育の希望をかなえる施策を展開し、未来を支える輝く子どもを育成します。

<基本戦略Ⅳ> 安全・安心の伸展戦略

～活力ある安全・安心なまちをつくる～

いつまでも住み慣れた地域で、健康で生きがいを持って暮らし続けることができるよう、少子高齢社会に適応したまちづくりに取り組みます。